

## 物流・港湾厚生施設指定管理者評価委員会 平成 20 年度第 1 回委員会会議録概要

- 1 日 時：平成 20 年 9 月 2 日（火）10 時～11 時
- 2 会 場：産貿 6 階第一会議室
- 3 出席者：來生委員、塩畑委員、富田委員、松橋委員 三縄委員

### （決定事項）

#### 1 委員会の進め方及び評価方法等について

3 回の委員会を開催することとし、第 1 回委員会では評価方法・評価項目について決定し、第 2 回委員会で指定管理者へのヒアリングを取り混ぜながら実際に評価し、第 3 回委員会で評価をまとめ、その後評価結果及び議事概要を公表することを決定。

#### 2 評価項目について

協議の結果、評価は ABC の 3 段階評価とし、評価を行う上で、指定管理者導入前後の変化などをポイントとしながら、ヒアリング等による情報などを手掛かりにして評価することと決定。

#### 3 次回日程について

10 月 29 日（水）13：30～17：00、ヒアリング、評価、意見交換を実施することとした。

## ○会議の内容

### 【趣旨説明】

事務局より、評価委員会の趣旨についての説明

- 「指定管理者の評価に関する要綱」に基づき設置されたこと
- 「第三者評価に関するガイドライン」における考え方を踏まえ進めていくこと
- 指定管理業務の状況について、第三者による評価を行い、評価結果を残りの期間における業務改善に生かしていくことを目的としていること
- 問題点を指摘するのみでなく、「気づきの視点」を指定管理者に提示することにより、一定の評価ができる部分をさらに前進させるきっかけを提供する場であること

### 【委員紹介及び委員長選任】

委員の紹介後、要綱に基づき、委員長を選出。來生委員を委員長に推薦する旨の提案があり、全員一致で決定した。

## 【議 事】

事務局より、資料をもとに概要を説明し、その後討議に入った。議事の概要をホームページで公表することについて了承を得た。

以下、委員の意見を中心にまとめる。

### 評価基準・方法について

**委 員** 基本的な評価の視点として、指定管理者導入前と比べてどれくらいよくなっているかという観点からのチェックも重要ではないか。

**委 員** 「以前と同じ=B 評価」という基準を設けた評価を行ってはどうかというご意見かと思うが、(従前との比較という場合、)従前の管理運営状況がどうだったかという情報をどこから得るかが難しいところではある。局に状況を聞くというのも方法としてはあるが、ただ、そうなると委員ではなく局の評価になってしまい、委員会で評価する意味がない。各委員がそれぞれ指定管理者導入以前の状況を踏まえた基準を設け、評価してもらうのがよいのではないか。

**委 員** 従前と同じか向上されているかを見る際、評価しづらい項目もあり、(例えば評価項目 1-1-1、1-1-2 など)、必ずしも全てにおいて従前と比べる必要はない。評価の目的を踏まえた上で、政策評価的な意味合いを含め、指定管理者導入の効果を測るというやり方もあるように思う。

**事務局** 評価項目の中には、評価項目 3-5-1 に「アンケートを実施するなどニーズ把握に努めたか」という項目もあるので、これを参考にさせていただくのも一つの手ではないか。実際の評価を行う際には、ヒアリングの中で指定管理者に状況を確認しながら決めていただければ、と考えている。

**委 員** 理屈の上では、評価しづらいとおっしゃられたような評価項目を外すことはできないと考える。結局のところ、主観的な判断に頼らざるを得ない部分もでてきてしまうが、ある程度は許容されるものではないか。独立行政法人の評価を行ったことがあるが、自己改善の努力目標を見たりして判断している。評価を行う上で各委員の意識としては、指定管理者導入前後の変化が大きなポイントであると認識したうえで、事務局からもいろいろな情報を出してもらい、それぞれの経験で判断することとしたい。

**委 員** 平均的な評価では、同じ B 評価を付けたものでも、上の方の B とか下の方の B と

か、幅があると思うのだが、そういったニュアンス、細かな違いは盛り込めないのか。

**事務局** 個人評価をなさる際に、B+、B-という表現もあって良いと思う。3段階評価をベースにしてはいるが、委員会全体としての評価を決める際に、そういったニュアンスも含めながらすり合わせていただければ問題ない。

**委員** 評価の段階を細かくすればするほど、バリエーションが増えてしまう。基本的に3段階評価ということは変えず、(B+、B-といった)若干の幅をもたせるということはどうだろうか。第2回委員会時に結論を出したのち、実際の評価に移ることとしたい。この点については、事務局でも考えてもらいたい。

**委員** いずれにしても、必ずしも客観的な水準があるわけではないので、基準となる水準を各自設けて評価していくということを考えると、あまり細かい評価にしなくてもよいと思う。

**委員** 評価対象となる4施設は、業務もそれぞれ違うし、あまり細かく分けることが意味を持たない。いずれにしても第2回の評価の時に考え方を固めた上で、実際の評価に移ることとしたい。

### 評価項目について

**委員** 事務局案で示された評価項目は、ガイドラインをもとにし、各施設の特性を考慮して考えているものようだが。

**事務局** 市のガイドラインに基づくほか、すでに評価を実施した地区センターや八景島等の事例をもとにしながら作成した案をお示ししている。

**委員** 4つの施設が評価対象になっているが、建材ふ頭運営会など事業が指定管理業務と一体不可分となっているもの、それ以外の団体のように主たる業務が他にあり、団体業務の一部を指定管理業務が占めているにすぎないものなどさまざまである。団体の中で指定管理業務が占める重みを考慮する必要はないか。

**委員** 指定管理者それぞれで事情が違う面もある。こうした評価の側面をどうするか、一定の指針のようなものが示せるとよいのだが、なかなか難しいのかもしれない。事務局でも考えてもらいたい。

**委員** 評価項目は選定の時の評価項目とどうリンクしているのか。同じような項目になっているのか。

**委員** 選定報告書と比較すると少し異なっている。選定と評価では、視点が重なる部分もあるので、項目のくくりかたは違うけれども、同じような項目が表現を変えて入っているという認識でよいのではないか。

**委員** 選定報告書と改めて比較すると、項目に大きなぶれはなく、選定時の視点とリンクしながら評価していくという点では同じと考えて評価するという点でよさそうだ。

**委員** 他にご意見等なければ、評価項目・方法はこれで了承されたい。

#### **【次回委員会日程】**

各委員の日程を調整し、次回は10月29日(水)13:30~17:00に、ヒアリング、評価、意見交換を実施することとした。